



Kuwabara Surveying Corporation

# 桑原測量 Report

4

号

株式会社 桑原測量社  
2008年4月15日発行

” 地域・社会に貢献できる元気で豊かな会社をめざして ”

花は桜木  
人は武士

業界の武士を目指せ！



## topics

Kuwa Soku Report 1

新入社員紹介

Kuwa Soku Report 2

技術情報（測量作業規程準則の改正）

Kuwa Soku Report 3

社内外活動報告

新潟県都市整備協会研修会にパネリストとして参加  
京都府・宇治市GIS視察レポート  
地理空間情報活用推進シンポジウムを開催

Kuwa Soku Report 4

社員投稿記事

『愛の献血』30回達成  
町内ボランティア活動に参加して  
ちょっと一服（今が旬を満喫）

Kuwa Soku Report 5

桑原測量社 広報室から

この度、国土交通省を定年退職したのを契機に入社致しました飯田昭彦です。どうぞ宜しくお願い致します。

今日、国際化、情報化、高齢化社会の到来、国民の価値観の高度化・多様化、地球規模での環境問題への対応、公共事業の減少、そして技術力を重視した入札制度への移行など、社会全体や建設事業を取り巻く環境は、大きく変化して来ております。

このため、建設事業の計画・実施に携わる私達技術者には、社会の総合プランナーとしての先見性と社会的要求の変化に対する鋭い洞察力が不可欠であり、単に担当する専門技術分野の研鑽のみでなく、広く社会・経済・文化などに関する知識の普段の涵養が強く求められています。



国土交通省の出先機関の多くの管理職がそうであるように、私もここ15年ほどは、請負業者の選定、予算要求、県や関係市町村等との連絡・調整、地元への事業・工事説明などの業務に終始して来ました。

それだけに、会社から与えられた技術士補・技術士の育成、若手社員への技術的アドバイス、お客様への技術サポート、社内業務推進プロジェクトへの参画・指導という新しい仕事は、これまでと内容が異なるものが多いだけに、一抹のとまどいも感じます。

しかし、役所でなければの事柄も数多く経験させて頂きましたので、今後は、それらを貴重な財産として、また、技術屋本来の仕事に携われることに対する心底から沸き上がる熱い思いを最大の拠として、精一杯努力したいと思っております。

若い人達が多く、職場は、活気に満ち溢れています。また、専用車も貸与して頂くなど、会社からは、多面に渡り、過大な待遇をして頂きました。

お客様との対話の機会を意識的に増やし、お客様のニーズを正確に把握し、現地を良く見て、より良い成果品をご提供することで、少しでも若い人達や会社のお役に立てればと思います。

皆様の相変わらぬご指導・ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

技術顧問 技術士（建設部門）

## Kuwa Soku Report 2

### 技術情報（測量作業規程準則の改訂）

測量法（昭和24年法律第188号）第34条に規定されています作業規程の準則は、公共測量作業規程を作成するための一般的な規範として、昭和26年8月25日（建設省告示第800号）に制定されました。

しかし、作業規程の準則に定めている測量方法等が現状の測量技術及び利用する環境と適合しなくなっていました。このような状況を解消するため、**作業規程の準則の全部を改訂し、本年3月31日に告示、翌日の4月1日より適用**されました。

これにより、これまでの標準とされてきた「**国土交通省公共測量作業規程**」に替わり、この度改正された「**作業規程準則**」が**全ての公共測量に適用**されます。

#### 改訂作業規程準則の4つのポイント

1. 多彩な測量作業方法の規定
2. 測量成果の電子化への促進
3. 地理情報標準への対応
4. 基盤地図情報整備の促進

（企画・総務部：宮下）

この準則の改訂は、まさに**地理空間情報基本法（NSDI法）と改正測量法**を受けての改訂であったと言えます。

準則では、発注の際に「**製品仕様書**」により次の4点を明示することを求めています。

測量成果のデータ項目・内容・属性

作業方法の選定（従来技術又は新しい技術）

品質の評価（成果データが要求された品質になっているか）

メタデータの作成（2次利用のための成果情報・品質結果）

## Kuwa Soku Report 3

### 社内外活動報告

#### 新潟県都市整備協会研修会にパネリストとして参加

（社）新潟県都市整備協会では隔年秋に先進地の視察研修を実施し、翌年2月に実務研究会で研修参加者の代表数名が視察結果を協会員並びに来賓（県土木部都市局）に発表しています。

平成19年度は、「公共交通とまちづくり」をテーマに富山市のLRT事業をメインに岩瀬浜のまちづくり、高岡市の瑞龍寺参道（八丁道）景観事業を視察して来ました。

今回、瑞龍寺参道（八丁道）景観事業の発表者となり、2月5日ウエルシティ新潟でPowerPointで視察結果を発表し、併せて他の発表者と視察の感想並びに新潟、長岡、上越各市の公共交通施策の実施状況や今後の課題等パネルディスカッション形式で討議させて頂きました。

上越市の公共交通施策については、事前に上越市公共交通政策課副課長様に資料提供及び少子高齢化、市町村合併に伴う広域化、エコロジー対策等のための公共交通整備の必要性についてもお話を聞かせて頂き、大変感謝しております。

今回は、視察地の発表以外に上越市の公共交通施策や現状等の資料収集を行ったおかげで上越市がどのような状況にあり、どのような取り組みを行っているかを知ることが出来、あらためて公共交通の重要性を再認識したと共に、今後業務を行う上で今回の研修結果を意識して、地域発展に繋がるように取り組んでいきたいと考えております。

（業務部：藤沢）



藤沢さん

去る2月14日、15日の2日間にわたり、長野県GIS協会主催の先進GIS視察会で京都に行ってきました。

初日は京都府庁にて業務改革推進室のご担当者様からの説明です。実際のシステムを動かしてのわかりやすい説明をして頂き、大変参考になりました（より詳細は月刊「測量」08年2月号に掲載されています）。

この京都のGISのポイントとして、府と市町村が応分の負担をしい「**割り勘効果**」を高くしていることが挙げられます。また、システムそのものもパッケージを使用し、費用を抑えるために、ほぼノンカスタマイズの状態で作られているとのことでした。

GISは業務改革に有効といわれていますが、GIS構築そのものに費用がかかってしまっは本末転倒となりかねません。この**費用と効果のバランスがGIS構築の際のポイント**だと感じました。



京都府視察風景

2日目は、宇治市役所にて、ご担当者様から、こちら実際にシステムを動かしてのご説明をいただきました。

宇治市は京都大学防災研究所があることでも有名です。宇治市のGIS構築には、この研究所の存在が大きかったようで、構築の際の各種アドバイスや、職員教育等に協力をいただけたとのことでした。デモの際も、若い職員の方がてきぱきと操作をされていて、使い込まれている印象を受けました。こういった方が育つかどうかもGISが成功するかどうかのポイントになると感じました。



宇治市視察風景

また、合間に清水寺に立ち寄ったのですが、震災を経験している新潟県民としてはあの舞台が地震が来ても大丈夫なのか心配になってしまいました。後日ニュースで知ったのですが、やはり京都の社寺仏閣の耐震対策は、大きな問題となっているとのことでした。それと感じたのは中国人観光客（だと思っのですが）の多さです。バスの駐車場はほとんど中国語のツアー名ですし、勿論みやげ物も中国語が併記されています。

中国の発展ぶりを実感した今回の視察でもありました。

(GISグループ：小島)

## 地理空間情報活用推進シンポジウムを開催

基調講演：奈良大学文学部  
地理情報学科 碓井照子教授



平成20年2月22日、上越市民プラザコンサートホールにおいて“**共用空間データ共同利用環境とは？**”をテーマとし、**地理空間情報活用推進シンポジウム**を開催しました。開催にあたり、新潟県IT&ITS推進協議会、他2団体様からの協賛、そして総務省、国土地理院、新潟県、地元自治体をはじめ多くの団体様から後援を賜り、ご支援ご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

政府は、地理空間情報の活用の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する事を目的に、平成19年5月30日に「**地理空間情報活用推進基本法**」を成立させ、同年8月29日施行しました。



国土地理院 北陸地方測量部  
部長 高橋保博氏

このシンポジウムは、同法を軸として、地域におけるGISを推進するための基盤情報整備と官民共同利用環境に関し、国、地方公共団体、民間それぞれの立場から、もたらす効果と問題点について、日本でも屈指の有識者をお招きし、様々な観点からディスカッションし地域における環境整備の方向性を見いだそうとしたものです。

**地理情報システムは(GIS)は、高度情報化社会の重要な情報基盤**であり、防災、福祉、まちづくり、環境、教育等の行政分野、民間業務の合理化・効率化、そして新規ビジネス創造、地域住民生活の高度化、多様化に資するものとして、その整備・普及の推進が行われてきました。



特別講演：(財)日本デジタル  
道路地図協会 矢口 彰氏

さらに政府は、同法を具体的に推進すべく、同年3月には政府の関係省庁で組織する「**測位・地理情報システム等推進会議**」により「**GISアクションプラン2010**」を新たに策定し、世界最先端の「**地理空間情報高度活用社会**」の実現を目指し次のように明言しています。「我が国のGISを巡る新たな状況を踏まえ、将来、地理空間情報を高度に活用し社会を実現するため、位置の基準となる**基盤地図情報の整備**、民間を含めた**地理空間情報の流通の促進**、これらを一層深めるための**産学官民の連携の強化**など、新たな時空の扉を開く施策を進める。」としている。



第2部 パネルディスカッション

また、GISとその関連技術の連携等による様々な新しいサービスの創造や新規産業の育が十分期待されることから、GPS技術等を用いた位置情報サービスに向けた取り組みや次元GIS等に関連する技術の開発等を**官民の役割分担を十分に踏まえて推進**するとしてます。しかし、全国的に見ても地域における空間情報の流通基盤の整備と地域利用の促が十分に行われている状況にはありません。



これらを推進するには産官学民が連携し、自主的かつ積極的に取り組む推進組織が必要であると考えます。空間情報の整備・流通や相互利用に関する地域の利用状況、連携に関するニーズを明確にするとともに、実現化のための問題点や課題を整理し地域における自主的なGIS推進体制の整備が必要であると考えます。

**プログラム、講師資料を下記、URLにて公開しています。**

<http://www.j-gis.jp/symposium/>

(企画・総務部：宮下)

## 『愛の献血』30回達成



先月、長岡きたまち献血ルームにて「30回目」の献血を行い、記念品を頂きました。献血に協力していた両親の姿を見て育ち、大人になったら献血に協力しよう!!と思っていた私の初献血は、当社での団体献血だったと思います。

以来、献血ルーム、献血バスにおいて全血献血・成分献血を行ってきました。

新潟県内には3箇所の献血ルームがあります。献血ルームでは献血前のリラックサ、献血後の休息や水分補給のためにお菓子や飲み物等が提供され、雑誌や漫画が備えられています。採血中の退屈を紛らわすためにテレビも設置されています。

また、献血手帳に替わり磁気記録式の献血カード「愛-Ca(アイ)」が導入されたことにより、本人確認がスムーズに行われ、次回献血可能日が確認しやすくなりました。献血後に送られてくる検査成績では、献血時の健康状態を知ることが出来ます。

献血は、患者さんの生命を守る「愛の贈り物」です。体調により協力できない時もありますが、50回目指して頑張ります!(^^)!

(業務部：渡邊)

## ちょっと一服(今が旬を満喫)

3月のある日曜日に、妻と2人で県内の某農場へイチゴ狩りへ出かけました。

昨年、2人で初めてイチゴ狩りへ出かけたのですが、それ以来「狩り」というものにハマってしまいました。

「それじゃあ今年も!」という事で前々から計画してGO!! 当日は天気も良く、花粉も元気に飛び回っておりまして。

高速に乗って目的地に到着! 10時開園で、私達も10分過ぎ位に着いたのですがもう駐車場は満車状態。県外ナンバ-の車もたくさんありました。

受付に行くくと30分食べ放題と摘み取り販売のコ-スがあり、私達は30分食べ放題を選択! 早速2人で完熟した真っ赤なイチゴを目指しまっしぐら。ハウスの中には家族連れやカップル達が笑顔でイチゴを頬ばっていました。私達も負けじと真っ赤な大きなイチゴを次から次へと頬ばりました。ですが20分を経過したあたりで満腹状態になりギブアップ。2人で40個以上食べました(^^) 今回食べた品種は「越後姫」という品種で非常に大きくて甘かったです。ス-パ-などで売っているイチゴは完熟したものは置けないそうで、それを食べれるのがイチゴ狩りの醍醐味だそうです。是非皆さんも時間があったら体験してみてください。私達も又夏頃にサクランボ狩りに行く予定です。

(業務部：山崎)



## 町内ボランティア活動に参加して



4月6日町内有志会にて、クリーン活動を行いました。

近年、環境に対する報道が多くなってきている影響か、人々の意識も良い方向に向いてきていると思われ、活動を始めて約6年になりますが、年々ゴミが少なくなってきている事が、実感されました。しかし毎年の事ですが、回収されたゴミのほとんどがバイパス沿いの植樹帯と側道に集中していて、ゴミの種類も雑誌、弁当殻、ペットボトルがほとんどです。

「人目が届かない場所なら・・・」とされている人がまだまだいますが、私自身も活動に参加していなかったら、同じような事をしていたのではと、考えさせられました。皆様も**ポイ捨ては絶対にやめましょう。**

有志会の活動はその他、そば打ち講習、秋祭り用の縄作り、救命講習会等いろいろ行っていますが、活動を通し普段はほとんど顔を合わさない町内の人との親睦を深められるよい機会となっています。

(業務部：山田)

## Kuwa Soku Report 5

## 桑原測量社 広報室から

「桑原測量 Report」第4号はいかがでしたか? 季節は私が四季の中で一番好きな【春】になりました。

春は出会いや別れの季節、新鮮な気持ちになります。

この時期は桜を見ながら通勤することができ、とても心が和みます。

桜の花言葉を調べたら、「優れた美人・純潔」でした・・・

(桜の種類によっていろいろあります。) 花を楽しめる期間は短いです、たくさんの人々に感動や幸せを与えてくれるステキな花だなあと改めて思いました。次号も社員一同力を合わせて発行に向け頑張りますので、よろしくお祈りします!!

(丸山編集員)



地域・社会に貢献できる会社をめざして  
株式会社 桑原測量社

本社所在地

〒943-0873 新潟県上越市大字西田中62番地14

電話：025-525-9100

FAX：025-525-0840

URL：http://www.kuwa-soku.co.jp/

発行：株式会社 桑原測量社 広報室

編集委員：宮下・高沢・斉木・山崎・渡邊・丸山・澤海